

# 病原体の侵入・拡散防止のための効果的な小型野生動物・害虫対策の検討

## ポイント！

- 高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）及び豚熱の発生事例において、**ネズミ、イタチ等の小型野生動物の畜舎への侵入によるウイルス伝播の可能性**が指摘されている。
- これまで病原体の侵入・拡散防止を目的とした**農場及びその周辺において活用可能で効果的な小型野生動物や害虫の防除・駆除方法は確立されておらず**、生産現場における家畜衛生対策の推進のために**総合的な対策マニュアルの整備が求められている**。

## 現状・課題

・飼養衛生管理基準において、平時から畜舎等での野生動物の侵入防止対策、ネズミ、害虫等の駆除等を義務付けている。

・また、疾病発生時には野生動物等を介した農場間の病原体拡散を防止することが重要であり、HPAI、豚熱等に関する特定家畜伝染病防疫指針において、発生農場における防疫措置の実施前には、発生農場及び周辺農場での粘着シート、殺鼠剤、殺虫剤等の設置及び散布を行うこととしている。

・これらについて効果的な防除・駆除方法を確立し、対策マニュアルを策定するための調査研究を行うのに先だって、**畜舎等における小型野生動物等に関する既知の知見等を踏まえて、最適な試験研究を設計する必要がある**。

## 必要な研究

### 対策マニュアル策定に向けた畜舎等における野生動物及び害虫の動態、防除・駆除方法に関する調査研究

- ① 平時、防疫措置時等の畜舎内及びその周辺におけるネズミ等の小型野生動物や害虫の動態に関する既知の知見を収集
- ② 小型野生動物や害虫の畜舎内での効果的な駆除方法や、農場間での伝播様式を踏まえた防除方法等に関するリサーチギャップを特定するための事前調査
- ③ 調査結果から、農場及びその周辺における効果的な防除・駆除方法の確立及び対策マニュアルの策定に向けた最適な試験研究の設計及びその実現可能性について検討

## 研究成果の活用

本研究の成果を基に、設計された試験研究を行い、**飼養衛生管理基準及び特定家畜伝染病防疫指針の実行において参照可能な対策マニュアルの策定を目指す**。